11. 介護相談員等派遣等事業について

介護相談員派遣等事業の概要

○ 地域で活躍する市民がボランティア（介護相談員）として、介護サービス提供の現場を訪問し、利用者の疑問や不満、生活相談等を受けることで、介護相談員はサービス提供者にフィードバックし事業者・介護者等の橋渡し役を果たすことで、利用者の不安の解消を図り、サービスの改善にむすびつり、利用者のより良い生活を保障する事業である。地域支援事業の任意理事「介護サービスの質向上に資する事業」として位置づけられている。

- 介護相談員数 4,739人（現在活動している人数（H26.3現在））
- 実施市町村数 497か所（実施率28.5%（同））

○ 平成24年度から、施設継続に加え居宅系サービスの運営基盤においても、事業者に対し、介護相談員との連携が努力義務化された。

○ 介護相談員派遣等事業のしくみ

介護相談員派遣等事業の都道府県別実施状況

○ 各都道府県別の市町村の状況では、実施が100％の州から10％未満の県があり、実施状況にバラツキがある。

○ 事業実施市町村からは、介護サービスの質の向上や利用者の権利擁護に効果が出ているとの意見がある。

平成24年度より、本事業の理解促進のため、実施状況の高調な県において、各県局・各県介護相談員によるセミナーとともに、市町村向け説明会を実施

平成26年3月現在